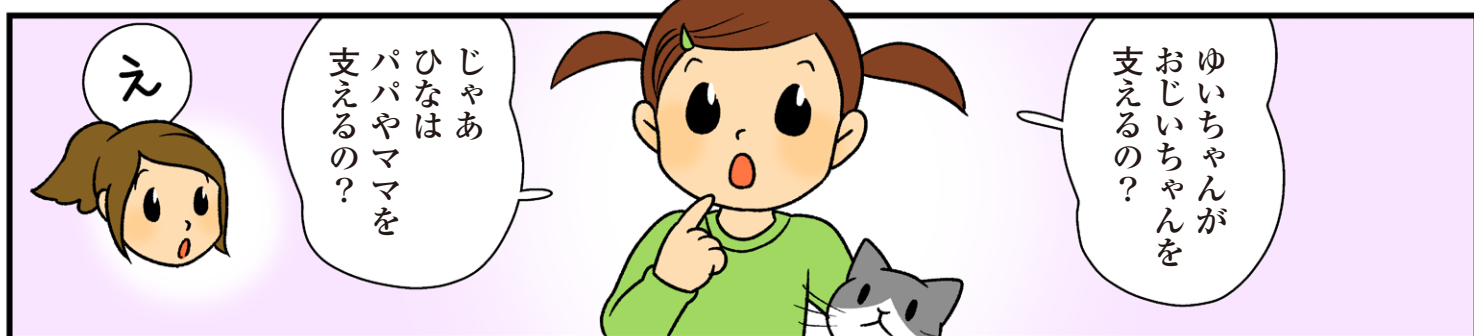
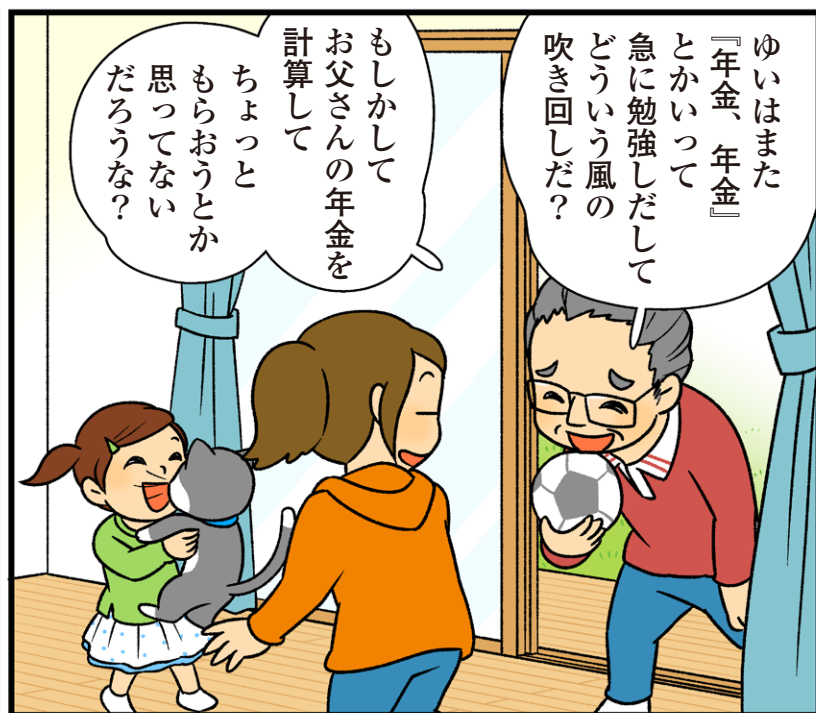
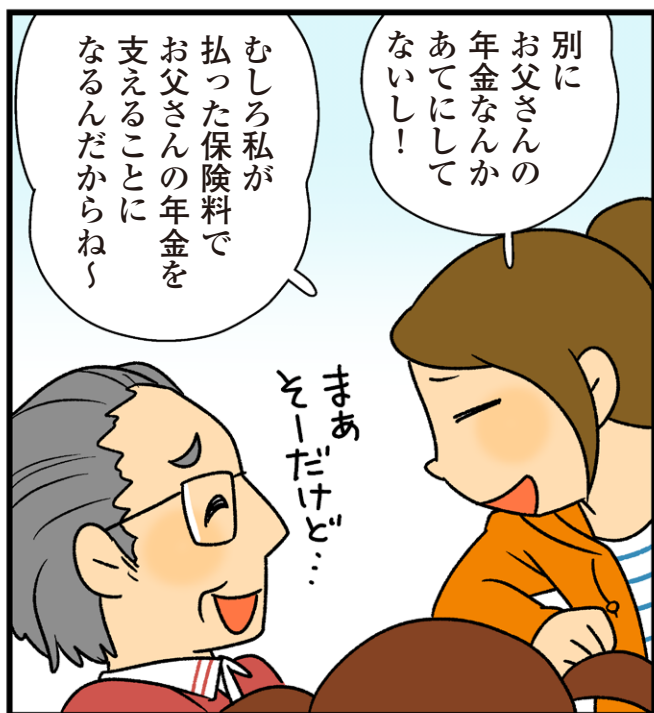
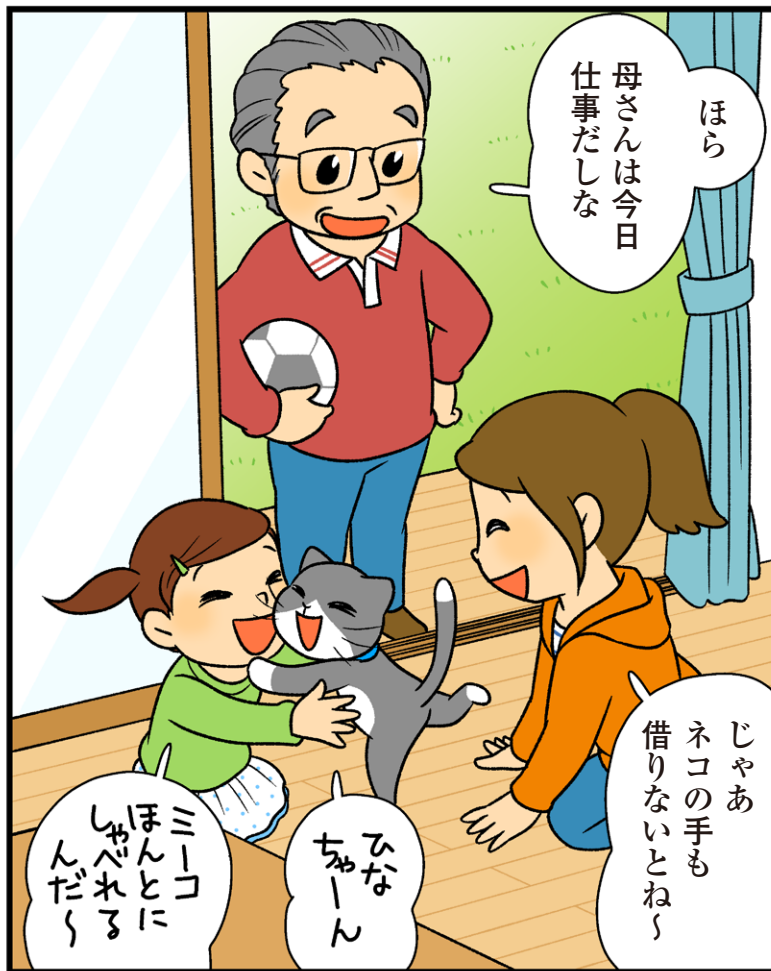




Q.11

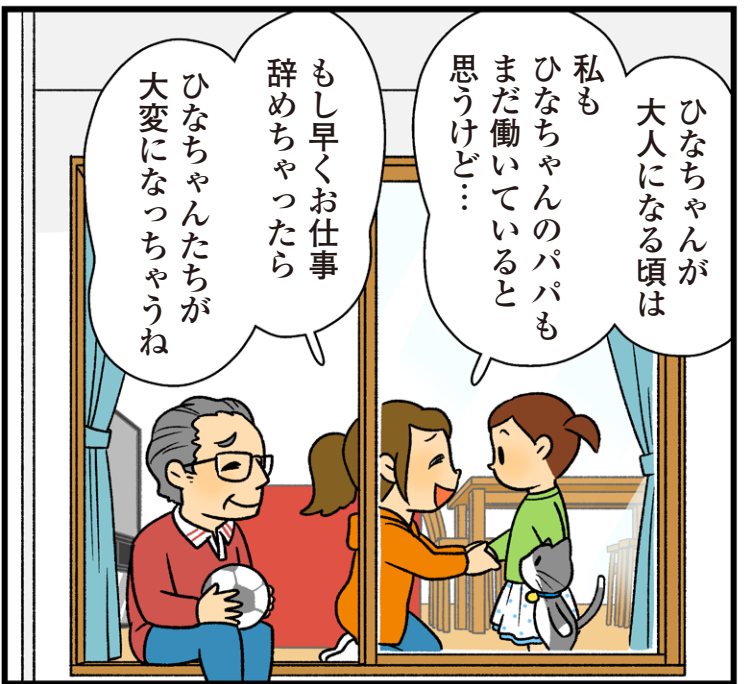
年金制度を支えるために、現役世代はもっと働かなきゃいけないの？





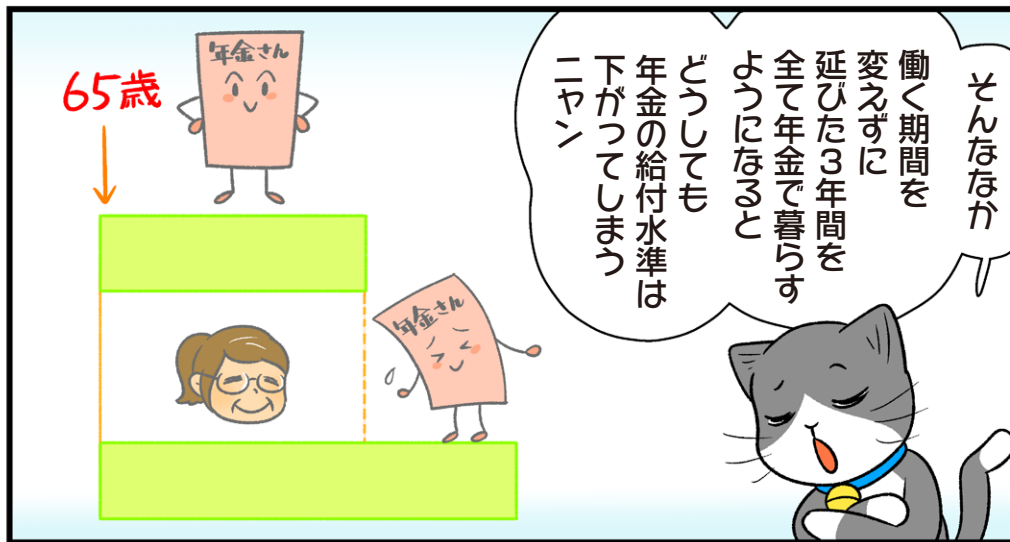


長く働くことは
より若い世代と一緒に
高齢化した社会を
支えていくためにも
重要なんだニヤ



ひなちゃんが
大人になる頃は
私も
ひなちゃんのパパも
まだ働いていると
思うけど…

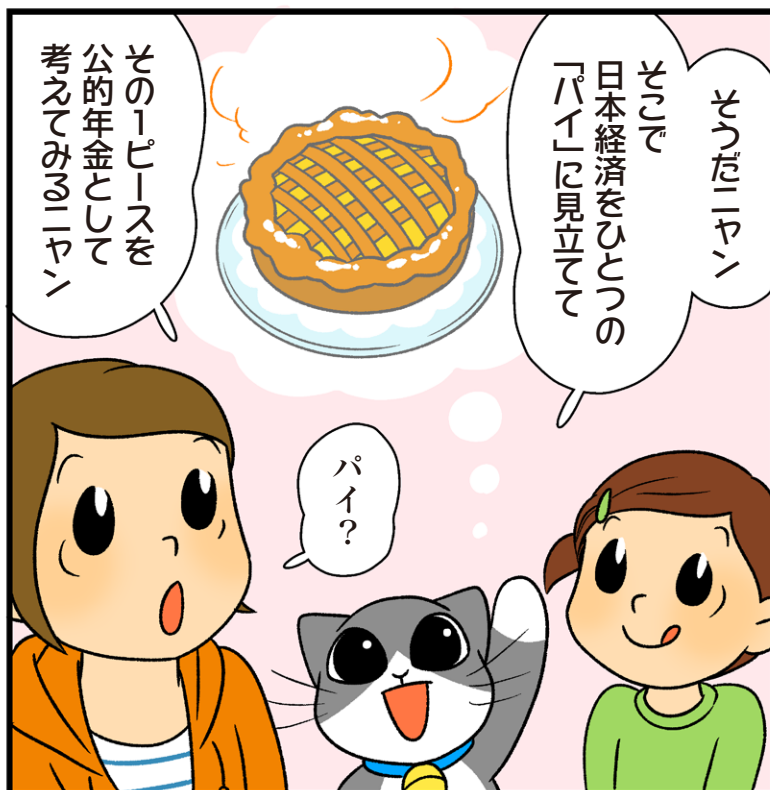
もし早くお仕事
辞めちゃったら
ひなちゃんたちが
大変になっちゃうね



そんななか
働く期間を
変えずに
延びた3年間を
全て年金で暮らす
ようになる
どうしても
年金の給付水準は
下がってしまう
ニヤン



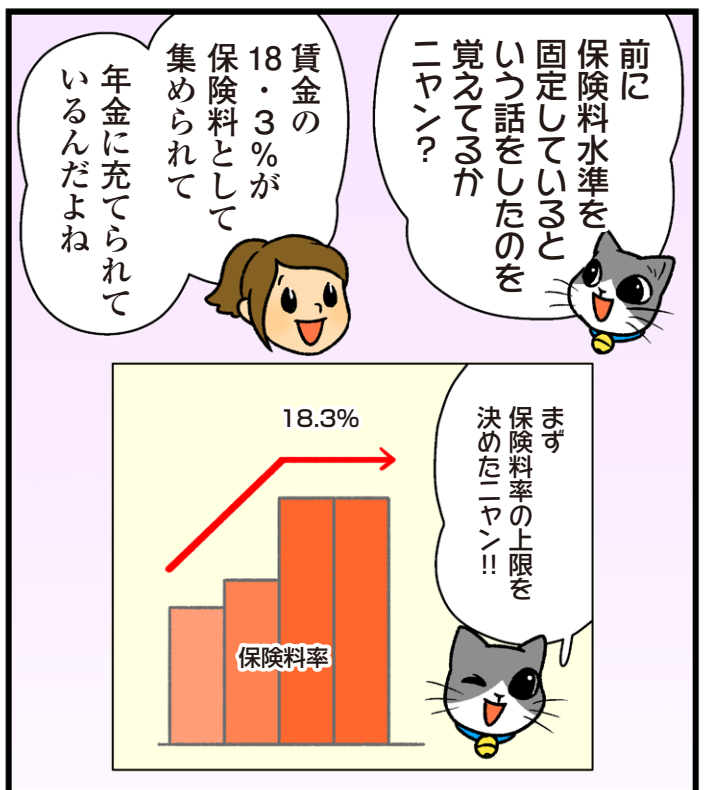
ユイちゃんが
65歳になる
ころ
65歳の余命は
今より約3年
延びる見通しだ
ニヤ



そのピースを
公的年金として
考えてみるニヤン

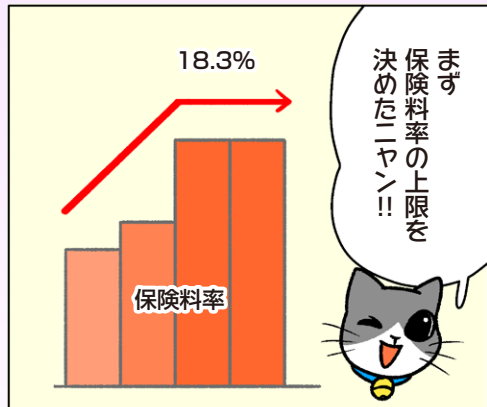
そうだニヤン
ところで
日本経済をひとつの
「パイ」に見立てて

パイ?

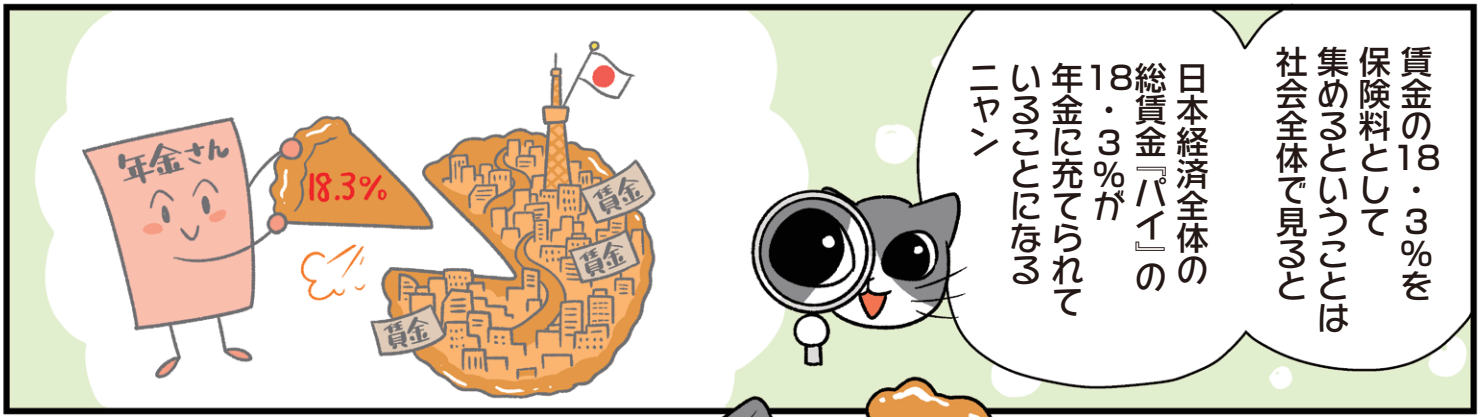


賃金の
18・3%が
保険料として
集められて
年金に充てられて
いるんだよね

前に
保険料水準を
固定していると
いう話をしたのを
覚えてるか
ニヤン?



まず
保険料率の上限を
決めたニヤン!!

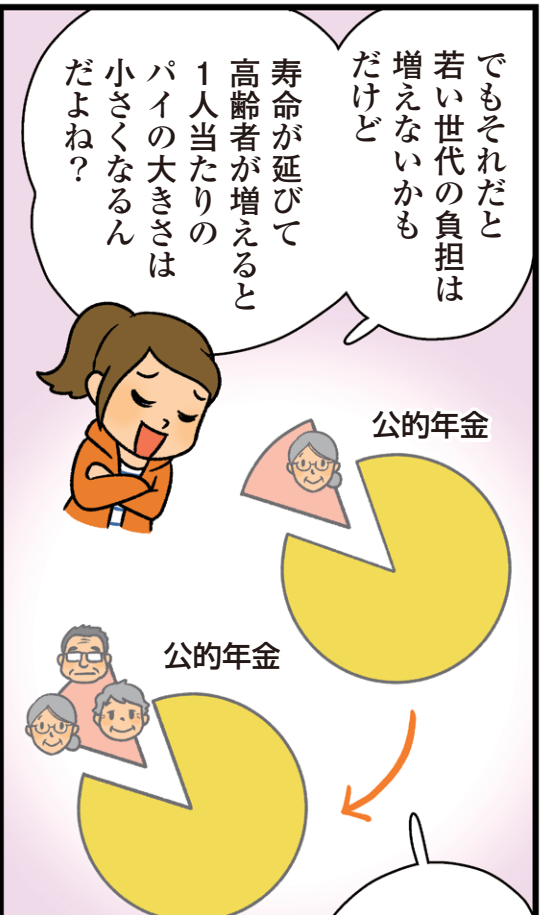
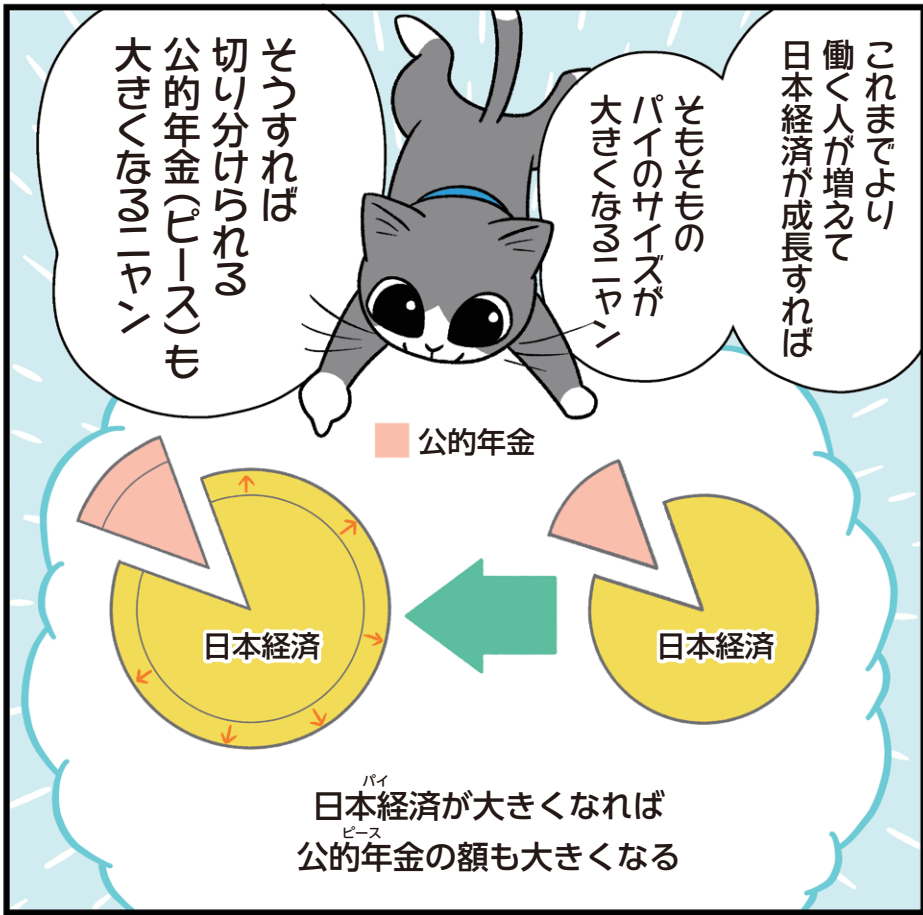


賃金の18・3%を
保険料として
集めるということは
社会全体で見ると
日本経済全体の
総賃金『パイ』の
18・3%が
年金に充てられて
いることになる
ニヤン



つまり
保険料を固定
するってことは
年金に
振り分ける
パイの割合は
1ピース分
変わらず

高齢化が進んでも
若い世代の負担は
これ以上増えない！
ニヤン



でもそれだと
若い世代の負担は
増えないかも
だけど
寿命が延びて
高齢者が増えると
1人当たりの
パイの大きさは
小さくなるん
だよな？



要はMサイズの
1ピースより
Lサイズの
1ピースの方が
大きくなるって
ことね!?

いや
そうとは
限らないニヤ!
こういうことは
年金の給付水準が
下がるのは
避けられないのか…

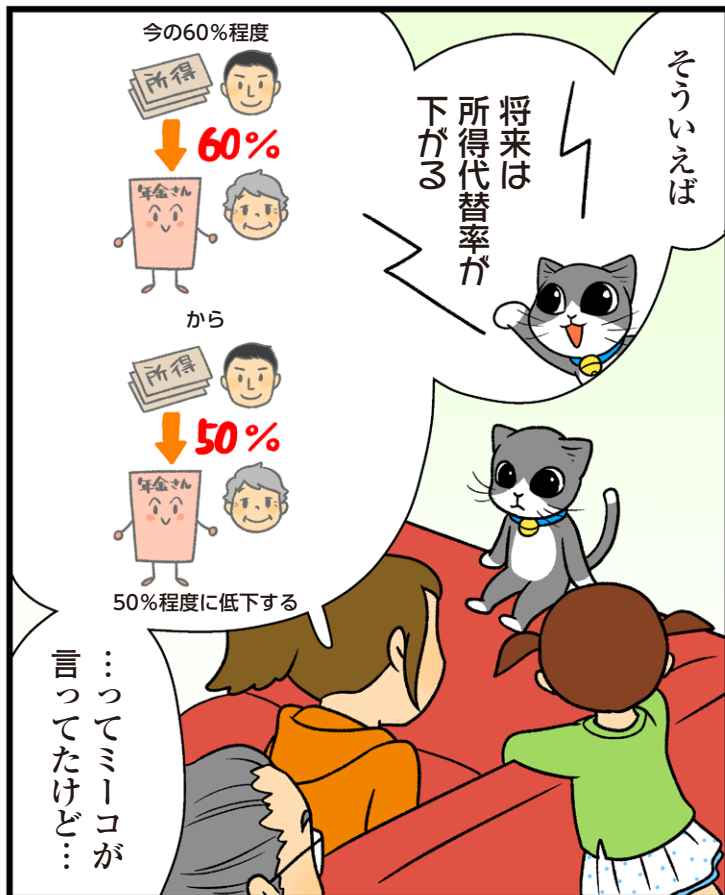


おじいちゃん
おばあちゃん
孫に何か
買ってあげる
こととかも
できなく
なっちゃう
のかな…



それって
私たちが
高齢者になった
ときの年金は

現役世代の
この子たちの
収入に比べると
だいぶ少なく
なっちゃうって
ことだよ



そういえば
将来は
所得代替率が
下がる

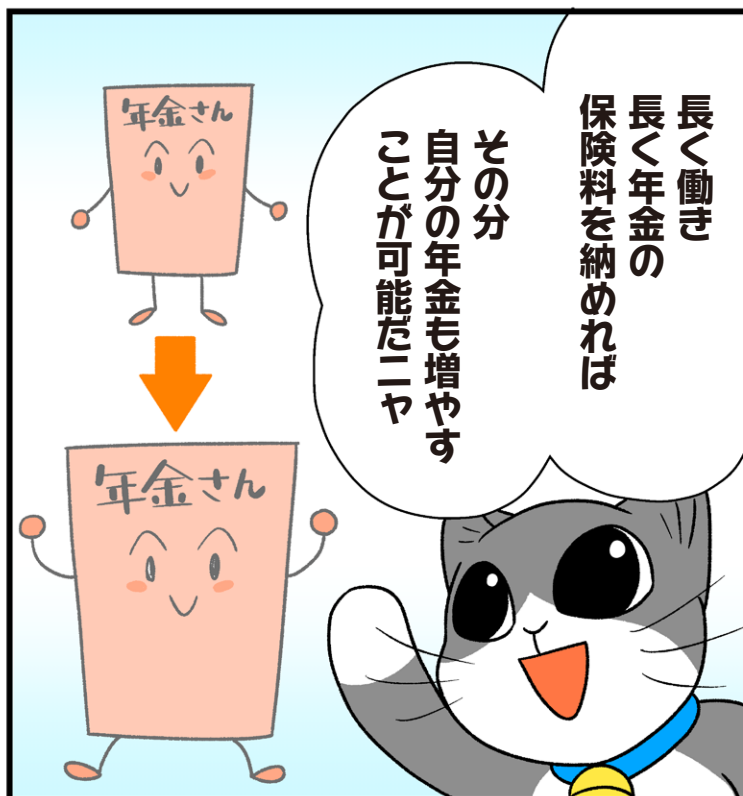
…ってミークが
言ってたけど…

※詳しくは10話を参照

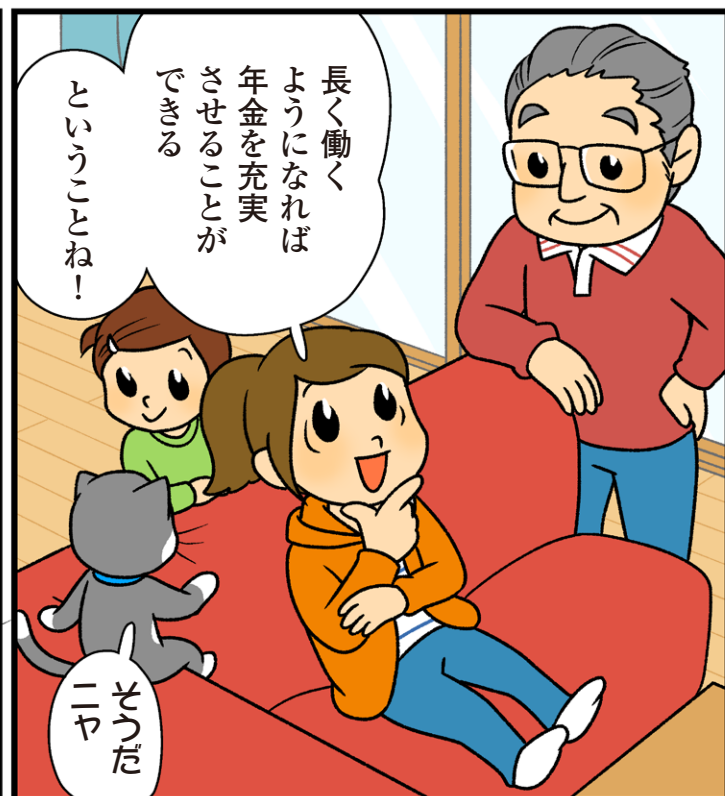


あ…

それは
働く期間が
今と変わらない
場合だニヤ!

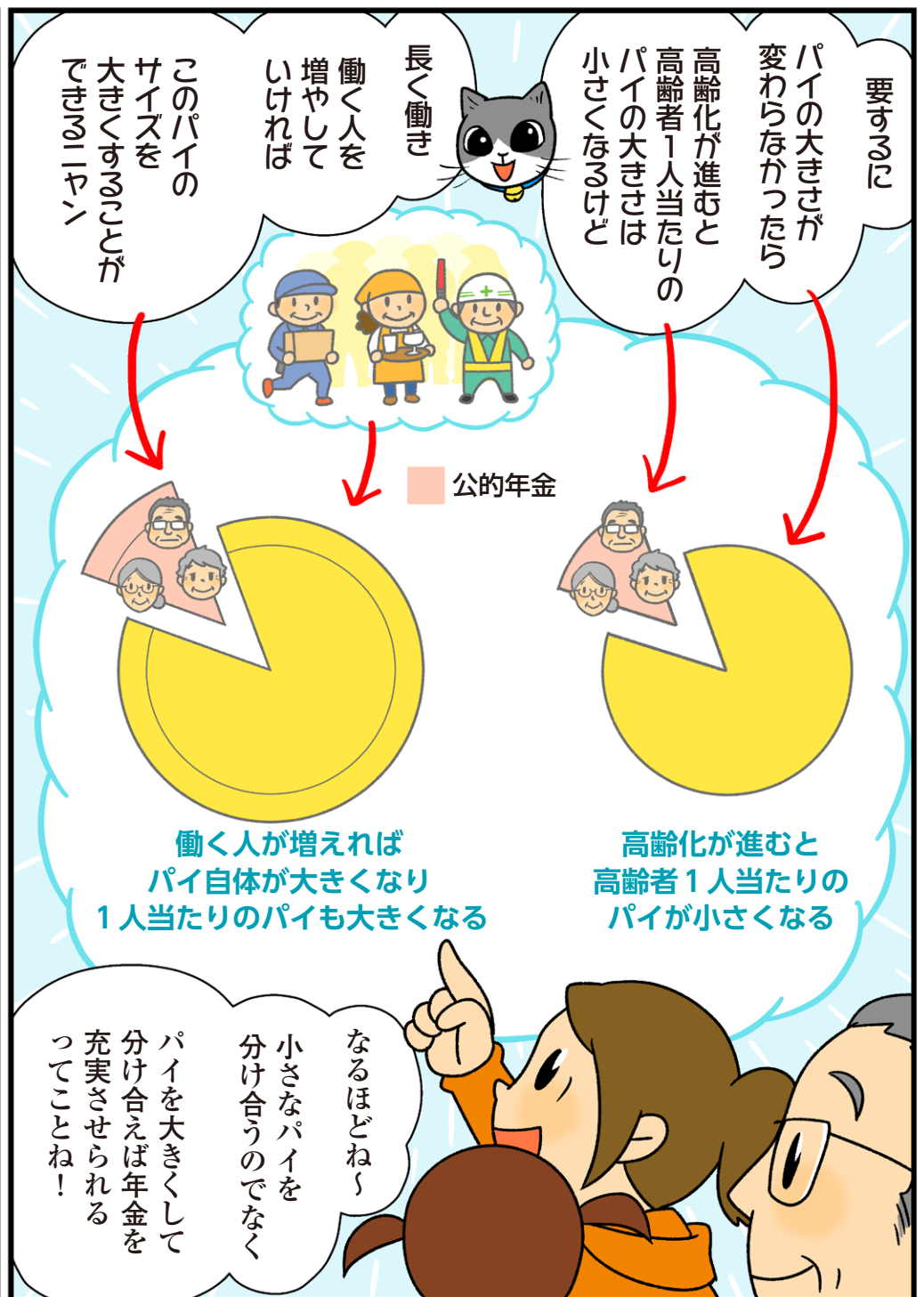
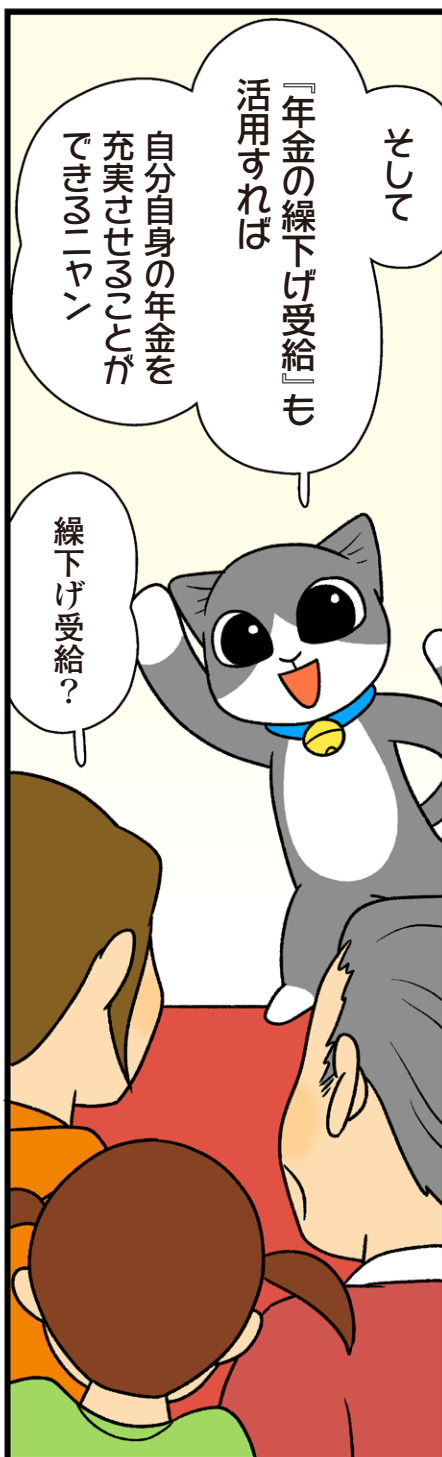
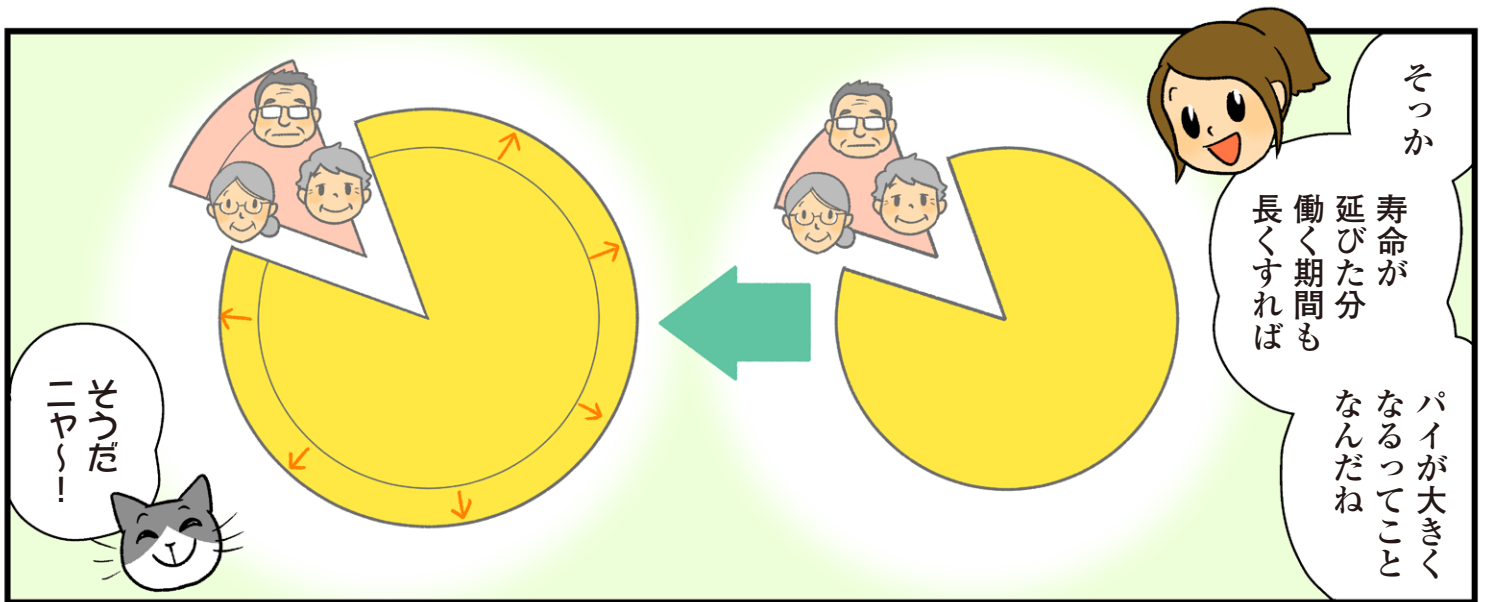


長く働き
長く年金の
保険料を納めれば
その分
自分の年金も増やす
ことが可能だニヤ

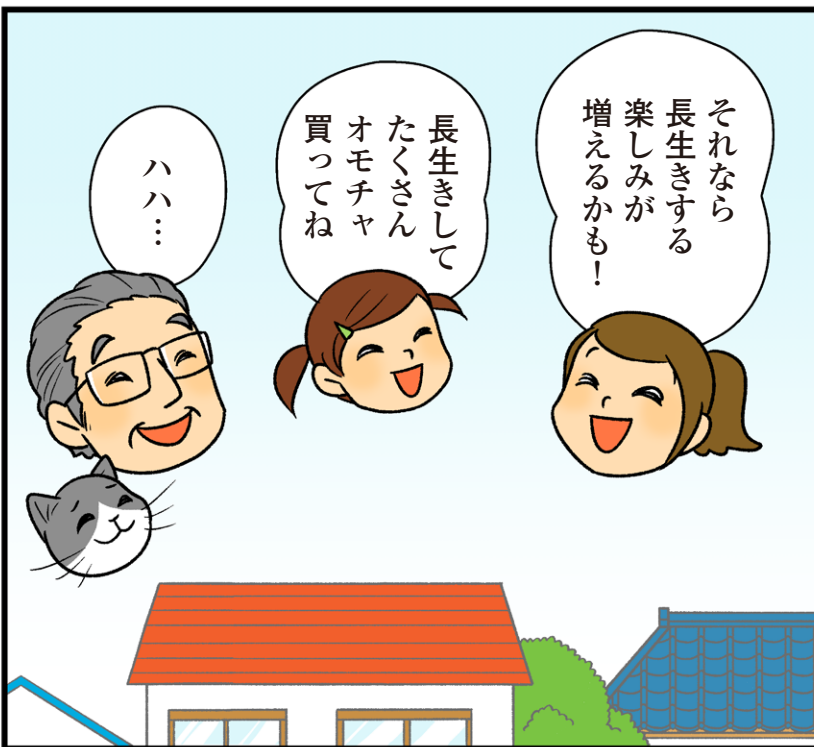
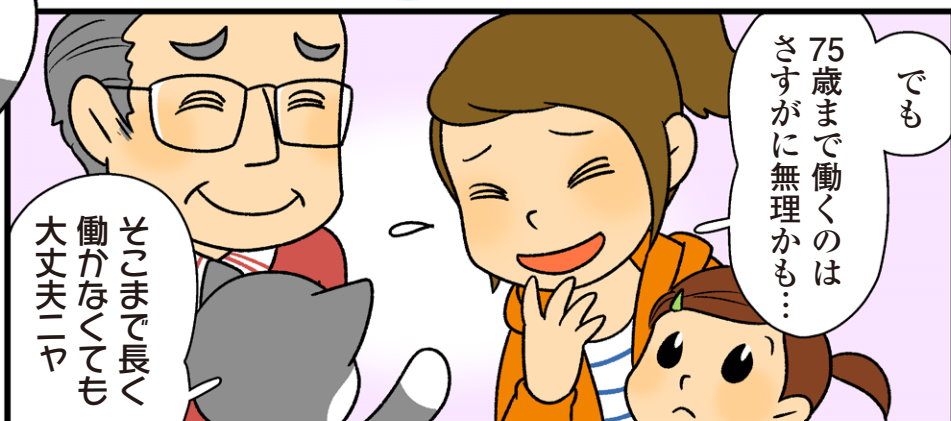


長く働く
ようになれば
年金を充実
させることが
できる
ということね!

そうだ
ニヤ



- 年金の受給開始年齢は原則65歳だが、最大75歳（2021年度までは70歳）まで繰り下げることができる
- 65歳に達した月から1カ月繰り下げごとに、受給額が0.7%ずつ増額
- 75歳まで繰り下げると受給額は最大で84%の増額



A.11 寿命が伸びるなか、より多くの方が長く働ける社会を作れば、将来の自分たちの年金を充実させることができる。

